

令和 2 年 第 2 回 定 例 会
一 般 質 問 通 告 表
《17人・27件》

令和 2 年 6 月 5 日
府 中 市 議 会

順	議員氏名 (質問方式)	件名	頁
1	渡辺 将 (一括質問)	1 新型コロナウイルス感染症について	1
2	増山 あすか (一括質問)	1 本市の新型コロナウイルス対策について	1
3	比留間 利 蔵 (一問一答)	1 府中市の新型コロナウイルスの対応について	2
4	そなえ 邦 彦 (一括質問)	1 府中市のひとり親家庭への対策について 2 府中市の成年後見制度への対策について	3
5	村崎 啓 二 (一括質問)	1 WEB会議システムの導入、オンライン相談（市民相談・子育て相談等）の実施について 2 新型コロナウイルス感染症拡大時における災害対策の強化について	3
6	結城 亮 (一括質問)	1 新型コロナウイルス感染拡大の状況下における国民健康保険の問題について 2 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、生活に困窮される方々への対策について 3 市内に広がる新型コロナウイルス感染に関わる情報開示の在り方について	5
7	稲津 憲 護 (一問一答)	1 市立小・中学校における新型コロナウイルス感染症の影響と課題、対策について	6
8	高津 みどり (一括質問)	1 「新たな生活様式」での介護支援、障がい者支援の充実を	7
9	にしみや 幸一 (一問一答)	1 身近な安全・安心施設の点検・改修について 2 資源循環・ごみ処理をめぐる昨今の課題について	7

順	議員氏名 (質問方式)	件名	頁
10	西のなお美 (一問一答)	1 感染拡大の中で、障がい者が安心して地域で生活をするために	9
11	奥村さち子 (一問一答)	1 感染症拡大防止を考慮した災害時の避難所対策について 2 生活困窮の相談体制の拡充と柔軟な支援を求めて	10
12	遠田宗雄 (一括質問)	1 使用済み紙おむつのリサイクル促進を求めて	11
13	奈良崎久和 (一括質問)	1 学校再開後の対応と今後の考え方についてー子どもたちに安心して適切な学習環境をー	12
14	杉村康之 (一問一答)	1 剪定枝の有効活用のための調査の結果は 2 基地跡地に持続可能なまちづくりを	13
15	竹内祐子 (一括質問)	1 感染症対策と災害避難について 2 新型コロナウイルス感染症対策ー学校や学童クラブ等での対応についてー	15
16	赤野秀二 (一括質問)	1 感染症などから市民の命を守るためにー都立病院などの独法化は中止を求めよー 2 府中市の会計年度任用職員制度の運用についてー緊急事態宣言後の対応はどうだったのかー 3 市民と事業者の命と暮らし、営業を守り抜くためにー切実な要望の実現を求めてー	16
17	前川浩子 (一問一答)	1 障がい者への差別解消に向けて	18

1 渡辺 将議員（一括質問）

1 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症が続く中で、4月7日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が7都府県に発令され、16日には全都道府県に対し発令されました。また、5月25日には、政府対策会議において5都道府県に対する緊急事態宣言が解除されました。

日々、状況が変化する新型コロナウイルス対策ではありますが、増加する新規患者や犠牲者に加え、過去に例を見ない極めて厳しい先行きの日本経済が予想されます。

これまで、日本政策金融公庫の特別貸付制度や、信用保証協会の保証付融資（セーフティネット保証・危機関連保証）や、持続化給付金、東京都感染拡大防止協力金など、国や東京都が様々な施策を講じてまいりましたが、危機的な状況にある市内経済への対策や感染拡大防止の観点から府中市の取組について以下、質問いたします。

- (1) 「府中市新型コロナウイルス感染症緊急対応方針」に関する市の考えについて伺います。
- (2) 府中市内の患者について、また感染拡大予防策について伺います。
- (3) 緊急経済対策として、国や東京都が様々な対応を講じているが、府中市においても、市内の中小企業等に対して、対策を講じていただいています。そこで改めてこのコロナ禍で市はどのような考えを持って支援策に取り組んでいるか伺います。
- (4) オンライン教育について、府中市の取組状況について伺います。

〔答弁〕市長・担当部長

2 増山あすか議員（一括質問）

1 本市の新型コロナウイルス対策について

新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応について、市政会を代表して、以下のとおり質問します。

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対策を実施しておよそ3か月が経過しました。この間の本市の対応について、市としての総合的な評価を教えてください。
- (2) 2月13日、都内において新型コロナウイルス感染者が発生した時点で、国や東京都との連携はどのように図られていたのか、また、それを受けて本市の初動対応はどのような状況であったか教えてください。

- (3) 4月7日、政府が緊急事態宣言を出した後、市内での感染者数も増加し続け、市民の間にはさらに大きな不安が広がりました。国や東京都との連携はどのように図られていたのか、また、市民に一番身近な存在である基礎自治体として、市民への情報伝達はどのように図られたのか教えてください。
- (4) 新型コロナウイルスに関することで、市民から市への問合せはどのようなものがあったのか、およその件数と内容を多い順に教えてください。
- (5) 外出自粛要請中、都内で感染拡大が続く中での介護施設や障害者施設はどのような状況であったか、また、事業者や利用者、その家族からはどのような要望があり、どのような支援を行ったのか教えてください。
- (6) 外出自粛要請中、家庭ごみは平常時と比べて増加し、近隣市では分別がなされていないことが原因で収集車の火災が発生したと聞いていますが、本市ではどのような状況であったか、また、それに対して行った対策を教えてください。
- (7) 緊急事態宣言が解除され、6月から小・中学校が再開となります。臨時休校が長く続いたため、児童・生徒の心のケアや学習の遅れをどのように取り戻すかが問題となりますが、教育委員会としての考えを教えてください。
- (8) 営業自粛を要請されていた事業者や、市民の外出自粛のため売上げが減少している事業者等からは、どのような声が届いているか教えてください。また、緊急事態宣言が解除となった後の本市独自の景気対策を教えてください。

〔答弁〕 市長・教育長・担当部長

3 比留間利蔵議員（一問一答）

1 府中市の新型コロナウイルスの対応について

- ① 市の新型コロナウイルスの対応を改めてお聞きします。
- ② 市の防災倉庫の備蓄品に使い捨てマスクはどのくらいありますか。
- ③ 市民と接触する職員への使い捨てマスクの配布はしていますか。
- ④ 特別定額給付金の現状と考えられる問題点を教えてください。
- ⑤ 来年以降の税収の予測と考え方をお知らせください。

〔答弁〕 市長・担当部長

4 そなえ邦彦議員（一括質問）

1 府中市のひとり親家庭への対策について

- ア 市内にひとり親家庭は何世帯いるのか。そのうち、離婚によりひとり親になった割合はどのくらいか。
- イ 市としてのひとり親家庭への支援策はどうか。
- ウ 離婚者への養育費確保への公的支援はどうか。
- エ 児童扶養手当等への加算はどうか。

〔答弁〕 市長・担当部長

2 府中市の成年後見制度への対策について

- ア 市としての成年後見制度への取組はどうか。
- イ 府中市の成年後見人は何人くらいで、利用者はどれくらいで内訳はどうか。
- ウ 中核機関の設置はどうか。
- エ 家庭裁判所との連携はどうか。
- オ 成年後見人の養成はどうか。
- カ 社会福祉協議会等との連携はどうか。

〔答弁〕 市長・担当部長

5 村崎啓二議員（一括質問）

1 WEB会議システムの導入、オンライン相談（市民相談・子育て相談等）の実施について

新型コロナウイルス感染症拡大予防、業務効率化、働き方改革等に向けて、国、地方公共団体で、WEB会議システムの導入が急速に進んでいます。また、感染拡大時に、市民のニーズに応え子育て等のオンライン相談（ビデオ通信）を実施している自治体もあります。感染症拡大予防、災害時のBCP（業務継続）対策、市民サービスの向上に向け、WEB会議システムの導入、オンライン相談の実施について以下質問します。

ア WEB会議システムについての基本的考え方について伺います。

- (1) WEB会議システムへの認識と本格的導入に向けての基本的考え方
- (2) 現地域情報化計画（2018年～2021年）での位置づけ及び次期地域情報化計画（2022年～）策定に向けての考え方
- (3) セキュリティーや財政措置などの課題

イ WEB会議システムの現状について伺います。

- (1) これまで試行を含めて行ったWEB会議の概要（内容、件数等）
- (2) WEB会議についての評価と利用上の課題
- (3) WEB会議システムに対応できる機器の現在数

ウ 今後のWEB会議システムの活用拡大について伺います。

- (1) 他の行政機関、附属機関、事業者及び庁内の情報連絡・情報共有・研修
- (2) 災害時の避難所などとの情報連絡・情報共有
- (3) 第二庁舎など本庁舎以外での活用（オンライン相談機能も含む）

エ 感染症拡大予防のため、府中市は市民相談室での各種相談を一時中止していますが、葛飾区等ではオンライン法律相談（ビデオ通話Face Time等）が実施されています。また、感染予防のため流山市子育てオンライン相談（ZOOM）、広島県府中市子育て親子オンラインおしゃべり広場（ZOOM）などオンライン子育て相談が各地で実施され、好評を得ています。

市民相談室で行っている各種市民相談、「子ども家庭支援センターたち」と「保健センター」で行っている子育て・家庭相談について、オンライン相談の実施に向けて以下お尋ねします。

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う各相談への影響（実施状況）
- (2) オンライン相談への認識（必要性）
- (3) 実施する場合の課題

〔答弁〕 市長・担当部長

2 新型コロナウイルス感染症拡大時における災害対策の強化について

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言は解除されましたが、3密防止など引き続き感染拡大防止策が求められています。国は、「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」と題する文書を4月1日及び7日と短期間に2度通知するなど、特に避難所における感染防止策の徹底を求めています。府中市においては、第2次補正予算で、避難所での感染予防対策費等を計上しているとのことですが、昨年12月議会で質問しました避難行動要支援者への対策の進捗状況を含め、項目を絞り以下質問します。

ア 昨年12月一般質問で答弁のあった下記3項目の進捗状況を教えてください。

- (1) 避難所・指定緊急避難場所の増設
- (2) 介護・障害福祉サービス事業者等との避難行動支援も含めた災害時

協定の締結状況

(3) 要支援者避難支援プランの全体計画作成の検討状況

イ 新型コロナウイルス感染症対策として十分なスペースの確保が求められていますが、緊急的な対応として次の2点について伺います。

(1) 指定避難所・指定緊急避難場所の小・中学校における体育館以外の教室等への避難について

(2) 自動車による避難と駐車スペースでの車中泊の可否

〔答弁〕 担当部長

6 結城 亮議員（一括質問）

1 新型コロナウイルス感染拡大の状況下における国民健康保険の問題について

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、市民生活においては生活困窮の状況が広がっています。こうした状況の下、市民の「命綱」とも言える国民健康保険について、市民生活を守る観点から市の見解と施策について伺います。

(1) 今回の新型コロナウイルス感染拡大の状況を受けて、生活困窮者に対する国民健康保険の免除、減免措置の実施について、市の見解を伺います。

(2) 経済情勢の激変による、所得の減少に伴う市民生活の状況下においての国保料設定について、市の考えを伺います。

〔答弁〕 担当部長

2 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、生活に困窮される方々への対策について

新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の停滞で生活困窮者に陥っている方々に対する支援の施策について以下、伺います。

(1) 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、経済活動の停滞による生活に困窮する方々が増加していますが、相談体制の整備について市の方針について伺います。

(2) 今回の新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けて、市独自の生活困窮者に対する支援策についての方針について伺います。

〔答弁〕 担当部長

3 市内に広がる新型コロナウイルス感染に関わる情報開示の在り方について

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、府中市では72人（5月29日現在）の陽性反応者が東京都から確認されています。市民の間には、多摩地区で府中市の感染者数が多いことに不安を感じる方々が多くいるのではないのでしょうか。こうした市民の不安に対して、行政がどのような姿勢で応えるのか、中でも新型コロナウイルス感染拡大に関わる情報公開の在り方について伺います。

- (1) 新型コロナウイルスの感染情報の公開に関する、市の基本方針について伺います。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、この間、市に対する情報提供を求める市民からの反応について、どのような意見が寄せられているのか伺います。

〔答弁〕 担当部長

7 稲津憲護議員（一問一答）

1 市立小・中学校における新型コロナウイルス感染症の影響と課題、対策について

新型コロナウイルス感染症対策として今年の3月2日から市立小・中学校が休校となり、児童・生徒及び保護者、関係者への対応は大変だったことと察します。6月1日から学校再開となり、段階的に通常の教育体制に向けて取り組んでいることは、子どもたちにとっても喜ばしいと思います。

今後の教育について、休校期間による学習の遅れにどう対応していくのか、不安に思う児童・生徒及び保護者も多いと思います。現状の課題と今後の明確な方向を明らかにし、安心して教育を受けられる環境を整えるために、以下質問いたします。

- A 児童・生徒及び教職員や学校関係者の感染症の現状と影響、学校教育の課題について、市教育委員会の認識を述べてください。

〔答弁〕 市長・教育長・担当部長

8 高津みどり議員（一括質問）

1 「新たな生活様式」での介護支援、障がい者支援の充実を

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令され、外出自粛の中で本市としましても様々な支援策を講じていただいていることに感謝申し上げます。

予算対応をはじめ、相談体制の強化も図っていただいているところですが、特に高齢者や障がい者を抱える御家族などからの相談が多く寄せられています。緊急事態宣言が解除になっても決して安心できる状況ではありませんし、むしろこれから第2波、第3波に備えなくてはなりません。介護事業者等のサービス継続に対する支援など介護、障害福祉サービス確保のための支援策も国の令和2年度の補正予算に計上されました。これまでとは違ったサービスの提供が求められてくると思います。相談の中で「聞いてもらって安心した」という声も多くありました。これまで以上に相談体制を整えていくことが大切だと感じています。

今後の「新たな生活様式」での介護支援、障がい者支援の充実を願って以下質問させていただきます。

- ア 介護施設、障害者施設における休業及びサービス縮小等の状況について教えてください。感染リスクを抑える対策などありましたら、併せて教えてください。
- イ 要介護認定、障害支援区分認定は、本来面会を前提に行われていますが、臨時的措置が取られていると思います。認定、更新の状況と影響についてお尋ねします。また、介護認定審査会の開催状況についても教えてください。
- ウ 介護施設、障害者施設でのマスク、消毒液、防護服などの確保の状況について教えてください。
- エ 緊急事態宣言期間の介護施設、障害者施設の事業者、利用者からの相談、要望について教えてください。

〔答弁〕 市長・担当部長

9 にしみや幸一議員（一問一答）

1 身近な安全・安心施設の点検・改修について

昨秋の台風19号豪雨災害、そして今般の新型コロナウイルス感染症の拡大は、地方自治体において日頃から危機に備える体制を築くことの重要性を、改めて市民に伝えることとなった。

中でも、府中市のような基礎自治体における大切な仕事の一つは、安全・安心に欠かせない身近な施設への日常的な点検・改修である。そこで今回は、この間に市民の皆さんから指摘をいただいた自主防災組織連合会防災倉庫（以下、自主防災倉庫）と街路灯を題材に取り上げ、それらの点検・改修に対する市の見解を伺いたく、以下質問する。

(1) 自主防災倉庫について

- ① 自主防災倉庫の位置づけと役割、他の防災関連備蓄倉庫との違いを、お教え願いたい。
- ② 自主防災倉庫の設置箇所数及び仕様、設置時期並びに設置場所決定の経緯などの概要を、お教え願いたい。
- ③ 自主防災倉庫の点検体制はどうなっているか。市が把握している自主防災倉庫の破損状況や改修要望例と併せ、お示し願いたい。

(2) 街路灯について

- ① 市が管理対象とする街路灯について、設置数（電灯及びポール）や設置後の点検・改修の体制はどうなっているか。市とESCO事業者との役割分担も念頭に、お示し願いたい。
- ② 本年4月上旬、市道である朝日町通りと甲州街道の交差点付近に設置された街路灯のポールが、市道上に倒れた事案があった。原因を含めた本事案の概略と、同種の道路安全施設の倒壊例が過去にあったかについて、お知らせ願いたい。

〔答弁〕 担当部長

2 資源循環・ごみ処理をめぐる昨今の課題について

資源循環システムに関しては、古紙類など資源物の国内余剰と、それに伴う市況価格の低下により、特に資源回収業界の経営環境が大きく揺さぶられている。その結果、府中市がごみ減量のために重視している集団回収活動にも、影響が及んでいる。

令和2年上半期は、このことに加えて新型コロナウイルス感染症の世界的拡大が起こり、資源循環だけでなく、ごみ処理作業の現場にも、新たな対応が求められることとなった。

そこで、資源循環・ごみ処理をめぐる府中市の動向を確認したく、以下質問する。

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大への対応として進めた主な内容を、次の点についてお示し願いたい。

- ① 府中市による収集及び中間処理について

② 一部事務組合での中間処理について

- (2) 市内の集団回収活動では、資源物の市況が要因となり、どんな影響が出ているか。具体的な事例と併せ、お知らせ願いたい。

〔答弁〕 担当部長

10 西のなお美議員（一問一答）

1 感染拡大の中で、障がい者が安心して地域で生活をするために

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、障がいがあり、在宅で介護事業者からヘルパーの派遣を受けながら生活している方から、コロナの影響で事業所が閉鎖されたり、ヘルパーが来てくれなくなってしまうと生活していけなくなるという強い不安を抱えているとの意見が届きました。

一方で介護事業者のヘルパーからは、マスクや消毒液などの物資が不足している中での介護に不安だという声や、厚生労働省からは利用者が濃厚接触者であってもケアを続けるようにとの通達があったものの防護服もなく介護できない、という声もありました。利用者の生活を保つためにもケアが必要であるために、感染の不安を抱えて命がけで介護に入っている、という意見も寄せられています。

新型コロナウイルス感染症の第2波が心配される中で、障がい者も介護に当たる方の命も守り生活の質を保つためには、それぞれの事業者に対策を委ねるのではなく、地域単位での対策を立てることが必要です。そういった対策がなければクラスターも感染者への非難も防げず、障がい者を取り巻く社会的な差別は解消されません。市として障がい者の地域での生活を支えるためどのような対策が必要なのか、見解を質問します。

- (1) 感染拡大のさなか、障がいを持つ人や介護者、事業所などから、どのような意見がありましたか。状況を把握するために、行ったことはありますか。
- (2) 市民や事業者からの意見や厚生労働省の通達を受けて行った対策はありますか。今後、第2波が来ることが予測される中で、今後どのような対策を考えていますか。
- (3) 介護事業者の現在の運営状況についてどのように把握していますか。
- (4) 市として介護現場を支えるための資材や対策を地域包括といった、地域単位で整える考えはありますか。

〔答弁〕 市長・担当部長

11 奥村さち子議員（一問一答）

1 感染症拡大防止を考慮した災害時の避難所対策について

近年全国各地で自然災害による大きな被害が発生しています。昨年度の台風19号接近の際には、府中市でも多摩川の氾濫に備えて危険だと判断した地域の方が、一次避難所や二次避難所として指定されている公共施設に駆けつけました。しかし、避難所開設や運営で、様々な混乱が発生していたにもかかわらず、問題の解決に向けた具体的な施策は明確に示されておらず、市民の不安感は払拭できていません。今年は、新型コロナウイルス感染の状況が長期化しており、避難所での感染症防止対策がさらに求められます。

市が指定する避難所は学校施設が多く、体育館などに多くの方が避難することが予想されます。19号の接近の際には、避難者が集中し、そこに入れなかった事例もありました。現状のままでは密閉、密集、密接を防ぐための感染症防止対策は不十分です。台風19号発生時の課題を踏まえ、新型コロナウイルス感染防止策が図られた避難計画が必要であると考えます。

大雨や台風による水害と、いつ起こるか分からない震災に備えた、これからの災害時の避難所対策について質問します。

- (1) 昨年度の台風での避難所開設、運営についての課題を教えてください。課題の整理に向けて、市民の意見の反映はどのようにしましたか。
- (2) 避難所における新型コロナウイルス感染を防止するための対策について、考えや計画を教えてください。

〔答弁〕 市長・担当部長

2 生活困窮の相談体制の拡充と柔軟な支援を求めて

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するために東京都に緊急事態措置が出され、休業や外出自粛が要請された影響で、収入が減少し、暮らしの維持や住まいの確保が厳しくなったという方が激増しています。

国は住居確保給付金の支給対象拡大を行い、東京都ではネットカフェ難民などに対するチャレンジネット事業の拡充を行い、社会福祉協議会は生活福祉資金の特例貸付を行うなど、様々な支援策を進めています。こういった施策が市民に行き届くためには、府中市としても市民一人一人に迅速にかつ丁寧に対応していくことが求められます。

生活に困窮する市民が抱える不安を解消し、支援につなぐため、生活困窮に対する相談体制と支援の拡大策について質問します。

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大による社会活動の自粛要請によって、

生活困窮の相談は増えていますか。緊急事態宣言前後の相談件数の推移を教えてください。また、主な相談内容と傾向を教えてください。

- (2) 住居確保給付金の支給については、新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者の拡大に鑑み、国は運用を柔軟にしましたが、このことについて府中市では市民にはどのように周知しましたか。支給対象拡大により利用実態はどのように変わりましたか。
- (3) 緊急事態宣言後、窓口と電話対応の相談はどのような対策と体制で行っていますか。また、今後の多様な相談への対応の仕方を教えてください。

〔答弁〕 市長・担当部長

12 遠田宗雄議員（一括質問）

1 使用済み紙おむつのリサイクル促進を求めて

平成30年第4回定例会で保育所での使用済み紙おむつの園内処理を求めて一般質問いたしました。

府中市は、翌年の平成31年4月より市立保育所全園での園内処理を実現させ、保護者の持ち帰りが不要となり感染症対策としても大きく前進いたしました。

また、私立保育園での同事業の実施や使用済み紙おむつを再利用するための情報収集に重点を置いていただくことを要望いたしました。

その際、府中市では燃やせるごみと一緒にクリーンセンター多摩川に持ち込み焼却処分をしており、一部自治体で企業や大学と共同で固形燃料やおむつの原料となるパルプに再資源化する実証実験を行っているとの御答弁をいただいております。

国内においては、ほとんどが可燃物として焼却されており、焼却炉の安定的な稼働や二酸化炭素排出量の増加など環境負荷への懸念が大きな課題ともなっています。

環境省はこうした課題を克服すべく、リサイクルの動きを全国に普及させるため、自治体向けのガイドライン（指針）を今年、令和2年3月に公表しました。

折からの新型コロナウイルスの感染が広がり地球的な規模で新型コロナウイルス対策に追われたことから、改めて災害時の感染症対策や備蓄の衛生管理なども重要視されましたので、府中市の使用済み紙おむつリサイクル促進に向け、以下質問いたします。

- ア 平成31年4月以降の市立保育所での使用済み紙おむつの園内処理について回収方法と回収量、保護者や保育士などの評価について
- イ アと同様に、私立保育園の園内処理の実施状況の推移と回収量、未実施園での処理方法について
- ウ 特養ホームなど高齢者施設等での実施施設数と回収量について
- エ 家庭ごみと一緒に回収している使用済み紙おむつの回収量について
- オ 感染症拡大の防止など衛生管理が大きな課題の一つですが、保育所や高齢者施設について、どのような感染症対策に取り組んでいますか。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、回収に関連した要望や問合せ、新たな対策などは講じましたか。
- カ 環境省が本年の3月に自治体向けの「紙おむつリサイクルガイドライン」を公表しましたが、東京都や府中市はどのように受け止めていますか。
- キ 現在、国内で実施されている使用済み紙おむつのリサイクルにはどのようなものがありますか。

〔答弁〕 市長・担当部長

13 奈良崎久和議員（一括質問）

1 学校再開後の対応と今後の考え方について—子どもたちに安心して適切な学習環境を—

新型コロナウイルスの世界的な流行・パンデミックは、我が国にも感染拡大をもたらし、4月7日には緊急事態宣言が発令され、東京では5月25日まで継続されました。

市内の小・中学校においては、昨年度末、そして新年度に入ってから一斉休校が続き、入・卒業式の大幅な縮小など、子どもたちに大きな影を落としました。

特に、新年度のスタートを切ることができず、限られた登校機会の中で多くの制限と行動変容が、子どもたちにも求められました。

一般会計の補正予算（第3号）に計上された府中市緊急対応方針に基づく家庭学習環境の整備など学習支援対策については、予算審議で何点か質問・要望をさせていただきました。

今回は今後の学校での学習や感染予防など、安心して学校生活や学習を進められるよう、第2波、第3波なども視野に、学校再開後の対応と今後の考え方について—子どもたちに安心して適切な学習環境を—と題し、以下

質問させていただきます。

ア 一斉休校期間における取組についての評価と課題、家庭における子どもたちの状況についての認識と課題をお伺いいたします。

イ 国からの指針や5月28日東京都教育委員会から示された感染症対策と学校運営に関するガイドラインの認識と、府中市の取組についてお伺いいたします。

ウ 学校再開後の段階的な教育活動・ロードマップの方向性と、授業時数と学力（学習の理解度）確保と、諸行事の考え方についてお伺いいたします。

エ 学校における感染防止対策についてお伺いいたします。

- ① 安全な校内環境の管理・消毒などの取組
 - ② 給食の再開と、感染防止への取組
 - ③ 子どもや保護者、教職員に求める行動・生活「新しい日常」について
 - ④ 教職員の健康管理と安全対策への役割
 - ⑤ 学校において、感染者が出た場合の対応・基本的な考え方
- 〔答弁〕 教育長・担当部長

14 杉村康之議員（一問一答）

1 剪定枝の有効活用のための調査の結果は

3年前、2017年の第1回定例会で剪定枝の活用について質問し、その後も度々お聞きしています。

趣旨は、剪定枝の処分費が年間約2,830万円、公共施設の燃料費が約5,870万円、合わせて8,700万円かかっているが、剪定枝を施設の燃料に活用できれば、コストを削減し、環境負荷も低減できる、一石二鳥ではないか、というものでした。実際に都立公園で導入されている例もあり成果も出ているという話もしましたが、そこでは3年後の今でも引き続き取組が続いています。

3年前、「課題もあるので他市の動向や様々な効果について情報収集を図っていく」とのことでした。その一環として、去年は環境省の補助も受けて調査も行ったと思います。情報収集や調査の結果について、またそれらを踏まえての府中市の考え方についてお聞きします。

- ① 府中市ではこれまで、環境負荷の低減についてどのように貢献し、具体的にどれだけの成果を得てきましたか。

- ② 「課題」について、この3年間どんな情報収集を行い、今どう考えていますか。
- ③ 昨年行われた「調査」について、環境省の目的は。また府中市としてこれに取り組んだ目的は何ですか。
- ④ 「調査」の結果をどう捉えているか。
- ⑤ 現在、公園緑地課が担当しているが、これは広く環境政策や財政の問題に関わることなので、政策課や環境政策課で扱うべき事案ではないですか。

〔答弁〕 市長・担当部長

2 基地跡地に持続可能なまちづくりを

前回2月の一般質問で高野市長に3期目に臨む考えを聞いた中で、スマートコミュニティについても聞きました。市長からは、スマートコミュニティを次期環境基本計画に盛り込むよう検討、また基地跡地留保地の利用などで留意、と答弁がありましたので、今回はこれについてももう少し聞きたいと思います。

スマートコミュニティについても2015年12月に質問して以来、機会あるたびに取り上げていますが、この4年半の間の再生エネルギーの技術や周辺環境の進展には目覚ましいものがあります。

府中市としても4年半「十分に調査・研究」されてきていると思いますので、今後、どのように盛り込み、留意していくのか、考えをお聞かせください。

- ① 再生エネルギーのメリット・デメリットについて、4年半たって現在どう変化しましたか。私が申し上げた意見も踏まえて、お答えください。
- ② 同様に、エネルギーの地産地消のメリット・デメリットについてはどうですか。
- ③ 「蓄電池の運用、有用性について、調査・研究」した結果、今現在の考えは。
- ④ 「スマートコミュニティについては、都市のインフラ整備に行政が計画段階から一括して関与する点が特徴」とのことでしたが、「関係課での検討」や「先進事例の調査・研究」の結果、今現在どう考えていますか。
- ⑤ 「SDGsの概要及び達成に向けた日本の取組」（外務省2019年12月）によれば、SDGsを推進する上での自治体の役割は「各地域の多様な優良事例の発信」、議会の役割は「社会課題解決のための具体的な

政策オプションの提案」などとありますが、府中市の役割をどう考えていますか。

- ⑥ 東京都のスマートエネルギー都市の実現に向けた三つの方向性のうち、②の「低炭素・自立分散型エネルギーの利用拡大」と③の「エネルギーマネジメントによる需給の最適制御」について、市としてどう進めていく考えですか。

〔答弁〕 市長・担当部長

15 竹内祐子議員（一括質問）

1 感染症対策と災害避難について

新型コロナウイルス感染症への対策の中で早急に想定を行うべき課題の1つは、自然災害時の避難についてです。多くの方が経験した昨年台風19号時の避難所の状況は、避難所に入ることができないという密集状態からも分かるように「3密」の状況が生まれていたことは明らかなです。もしも今、災害が起こったら、このコロナ禍という状況を踏まえ、市の防災計画や避難の在り方を柔軟に根本から検証していく機会と捉え、質問します。

- ① 府中市地域防災計画における感染症に対する考えを教えてください。
- ② 感染症対策として、避難所用に感染リスクの軽減に有効とされる物品器材等は備蓄されていますか。あれば具体的な内容、個数、使用方法など教えてください。
- ③ 「3密」を避けるための多様な避難所を必要数確保するにはどのように解決すべきと考えますか。

〔答弁〕 市長・担当部長

2 新型コロナウイルス感染症対策－学校や学童クラブ等での対応について

政府の一斉休校により3か月が経過し、緊急事態宣言解除を受け、市内の学校は6月1日に再開を迎えました。この間、様々な努力が重ねられ、手探りの中で子どもの学びや育成を支えてくださった教職員、学童クラブの指導員、関係者の皆様に感謝申し上げます。

卒業式など学校生活の節目の一部を予期せぬ形で失うなど、多くの不安を抱えている子どもたちに心のケアが今後一層求められます。いまだ収束が見えない新型コロナウイルス感染症、感染拡大の第2波、第3波によっては再度休校措置が取られる可能性も予想できます。子どもの健やかな学

びの場を保障する学校を守り、子どもと家族、教職員や指導員の命と健康を守るための学校再開後のガイドラインについてお聞きします。

- ① 学校や学童に通う際の健康状態の確認はどのように行われますか。主に対処を行う保健室の養護教諭など職員の体制は十分ですか。
- ② 感染症予防として、学校内でのマスク着用はどのような場面で必要ですか。またマスクを着用する際に種類が強制されるようなことはありませんか。
- ③ 感染症予防では衣服に付着したウイルスの除去には一般的な洗濯が有効ですが、制服など頻繁に洗濯のできないものはどうするのか、中学校への私服やジャージでの登校は許可されるのでしょうか。
- ④ 休校中の家庭学習はどのように評価や判断が行われていますか。家庭学習だけでは理解や習得ができなかった場合のケアはどのように行われますか。
- ⑤ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等によるケアの充実を図るために、検討していることはありますか。

〔答弁〕 市長・担当部長

16 赤野秀二議員（一括質問）

1 感染症などから市民の命を守るために一都立病院などの独法化は中止を求めよー

小池東京都知事は新年度、都立病院、公社病院の独立行政法人化の動きを加速化させている。

そんな中、新型コロナ感染への対応で、医療機関の関係者のまさに命がけの懸命な奮闘が続けられている。

この間、コロナ感染患者を受け入れている医療機関では、特別な体制を取らざるを得ず、そのための経費の増大や通常の診療制限などによる収益の大幅減少など病院経営を圧迫する事態が起き、存続の危機的状況にもなっている。これら医療機関への抜本的な支援拡充が急がれる。

それとともに、今回のような感染症拡大などの事態下においては、都立病院などの公的病院の重大さを改めて感じるところである。

このようなときに進められている都立病院などの独法化については、医療を守る立場から中止するべきであると考えます。

改めて、市として独法化中止を東京都に要請することと、医療機関への支援の強化を求めて以下質問する。

- ① 今回のコロナ禍で都立府中医療キャンパスの医療機関の果たしている役割について
 - ② コロナ感染患者を受け入れている民間医療機関の状況
 - ③ その他医療機関でのコロナが疑われるケースへの対応状況
- 〔答弁〕 市長・担当部長

2 府中市の会計年度任用職員制度の運用についてー緊急事態宣言後の対応はどうだったのかー

今年度から会計年度任用職員制度が開始された。その開始時期に今回の新型コロナウイルスでの緊急事態宣言が重なり、自宅勤務など職員の勤務状況も大きな変更を伴うことになった。

そこで、コロナ禍と重なる下での会計年度任用職員制度の運用状況について、以下質問する。

- ① 府中市の会計年度任用職員の種類とその違い。特別職を除く正職員、会計年度任用職員の人数と比率（種類ごと）
- ② 新型コロナ対応での在宅勤務等を実施したが、基準はあったのか。また、その内容はどうなっていたか、会計年度任用職員への対応も含めて聞きたい。
- ③ ②の対応を行った際の給与の保障についてはどうだったのか。
- ④ 給与100%保障の自治体が少なくないと聞いている。なぜ府中市がそのようになっているのか。

〔答弁〕 市長・担当部長

3 市民と事業者の命と暮らし、営業を守り抜くために一切実な要望の実現を求めてー

政府の緊急事態宣言後、3回にわたり市民と事業者の命と暮らしを守るための要望書を市長へ提出してきた。5月27日には、宣言解除後の対応と第2波の感染拡大に備える取組の強化を求めて、4回目の要望書を提出した。

そこで、この間の要望事項について、数点に絞って検討状況を確認するために以下質問する。

- ① 回避すべき3密の対応が避けられない職種の一つとされる、介護の現場について、市としてどのような支援をしているか。また、検討しているか。

- ② 大学、専門学校などの学生はバイトもできず生活費が賄えないなど、学業の継続が厳しい状況にある。このような事態に対して、市としてどのような支援をしているか。また、検討しているか。
- ③ 市内、商・工・農業者などの状況について、市としてどのように把握しているか。さらに、給付金など（融資関係以外）の支援はどのようになっているか。また、検討しているか。

〔答弁〕 市長・担当部長

17 前川浩子議員（一問一答）

1 障がい者への差別解消に向けて

障がい者の基本的人権、基本的自由、尊厳を基とする「障害者権利条約」が発効したのは2008年5月です。

日本においては、2016年4月1日、「相互に人格と個性を尊重しながら、共生社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進する」として、「障害者差別解消法」が成立しました。

障がいを「社会モデル」と捉え、社会変革が進んでいく中でこそ、「共生社会」の構築が図られます。

以下、府中市における現状をお聞きします。

- (1) 府中市における障がい者への差別解消の考え方について
- (2) 府中市における障がい者への差別解消の取組について
- (3) 府中市におけるバリアフリーの進捗状況
- (4) 府中市教育委員会における障がい者差別解消の取組について

〔答弁〕 市長・担当部長